

乳がん

タイプごとと個別化治療

全国の主な病院の治療実績について、読売新聞がアンケートした結果を掲載する「病院の実力」。今回は乳がんを取り上げる。乳がんの治療は、がんのタイプに合わせて抗がん剤やホルモン療法を使い分ける「個別化治療」が進んでいる。2013年に行った全手術件数、乳房の全摘出手術後に同時再建手術を行った数、乳房を残す温存手術の割合(温存率)を一覧表に示した。また、近年導入され始めた、がん細胞の遺伝子で再発リスクなどを調べる検査の実施状況を聞いた。

語る。

■がん細胞を
乳がん治療は
薬をはじめとす
開発も盛んだ。
から使われると
「ハーセプチン
なたんばく質」
が過剰に現れる
ん細胞を狙い撃
国立病院機構九
ター(福岡市南

病院の実力「乳がん」

医療機関別2013年治療実績
と検査体制(読売新聞調べ)

都道府県	医療機関名	全手術件数(件)	同時再建手術(件)	温存率(%)	再発リスク検査 (実施の場合は○)
広島県	市立広島市民	395	33	70	○
	広島大	243	16	69	○
	福山市民	201	7	36	
	県立広島	108	11	61	
	J A 広島総合	101	2	65	
	J A 尾道総合	100	-	70	○
	国・福山	89	1	58	
	広島市立安佐市民	72	0	62	
	広島マーク・ク	57	0	91	
	広島赤十字・原爆	53	0	75	
	中国中央	36	0	42	
	広島記念	20	0	55	
	日本鋼管福山	10	0	30	
	尾道市立市民	9	0	78	
山口県	庄原赤十字	9	0	44	
	井上	2	0	50	
	山口大	104	2	22	
	地・徳山中央	101	0	60	
	県立総合医療セ	79	2	48	
	地・下関	42	1	41	
	下関市立市民	28	0	54	
	周東総合	28	0	32	
	倉田皮ふ科・乳腺科	22	0	100	
	小郡第一総合	21	0	10	
山口労災	19	0	84		
長門総合	15	0	40		
錦	3	0	100		